


NARA
PREFECTURAL
UNIVERSITY
SENIOR HIGH SCHOOL
2027 SCHOOL GUIDE



さあ、ここから始める
Academic Inquiry Course
《探究科》



 奈良県立大学附属高等学校

探究心が目覚める、 思いが高まる、 未来の扉を開く！



GRADUATION POLICY

奈良県立大学附属高等学校が
めざす教育目標

互いの価値観や
好奇心を大切にす

既存の概念にとらわれず、
自らの意思で主体的に
行動し責任をもつ

コミュニケーションの
喜びを知る



これからの時代、本当に必要なものって何でしょうか？ 何が好きか、何に惹かれるか、何に一生懸命になれるか…。答えがまだ出ない問いが山積する現代社会で、今最も求められていることは、本当の力を身につける学びです。自分次第で学びをどこまでも深め、力を伸ばすことができる学習。何より、自分の興味・関心に沿って学びたいことを学びたいだけ学べる学習。生徒の主体性と創造性を尊重する「課題探究型の学び」が今、求められています。

奈良県立大学附属高等学校は、全国でも珍しい「探究科」だけの単科高校です。探究科では課題探究型の学び（PBL）を学習の中心に据えています。自らの意思で責任を持って行動する「自立」、他者や社会に関心を持って自身の能力を発揮する「貢献」、失敗を恐れず困難な課題に果敢に挑む「挑戦」の3つを掲げ、一人一人の探究力と実行力を総合的に高めながら、新たな時代を切り拓くリーダーの育成をめざしていきます。

苦境にあってもその状況を
克服するために
果敢に挑戦する



多様な文化を理解し、
国際的な視野をもって
行動する

地域社会への関心を持ち、
地域での活動に積極的に参加する



助け合い、認め合いながら、自分の成長を実感できる附属高校。



奈良県立大学附属高等学校
生徒会長 東口 純弥さん
(大和郡山市立郡山西中学校出身)

僕は1年生後期から生徒会執行役員として、奈良県立大学附属高等学校をより良くするためのさまざまな活動に取り組んでいます。新しいことを一から作り上げるのは簡単ではありませんが、実現できた時には大きなやりがいを感じます。

本校の生徒はチャレンジ精神旺盛で、自由と規律が両立できています。勉強やイベントで、不安そうにしている人がいれば声をかけて、何ができるかみんなで考える。そういうことが自然にできています。また先生と話していても、生徒のことを本当に親身に考えてくださることがわかります。そんな環境だから失敗を恐れず、なんでもチャレンジしてみよう！という気持ちになれるはず。僕自身も本校に入学して、自分の意見を伝える力と、失敗を恐れない強さを得ることができました。何かをやり遂げたい人はもちろん、今は自信がないと思っている人も、奈良県立大学附属高等学校にはチャンスがいっぱいあります。



学びの特色【探究科】

KEY FEATURES OF LEARNING

生徒の主体性と 創造性を尊重する 「探究科」の学び

「探究科」の学びは、生徒の主体性と創造性を重視し、身の回りから見付ける疑問や関心を出発点に、課題を「発見・設定、し、「調査・研究・実験、を行う学習です。グループワークを基本に、周囲の生徒と連携して進め、「発表の形、で共有します。探究科として、探究に必要な力を基礎から養うことを目標に、これからの時代に必要となる教養を学ぶ科目を設置し、さまざまな教科を誰もが満遍なく学んで教科横断的な学習を実現します。



1.

生徒の主体性を重視する「課題探究」

身近な疑問や個人的な関心を切り口として、調査・実験・分析といった手法を用いながら「答えのない問い」に向き合っていくのが「課題探究」です。誰かに示された道を歩くのではなく、自分自身の好奇心を手がかりに新たな道を切り拓いていく。それが、より大きな課題につながり、そして、大学や社会の中でこれから必要とされる力を身に付けることにつながっていきます。(→ P.05)

学びの特色3つの柱

自分の興味・関心を基に
答えのない問いに向き合い
周囲とつながり自分を高めながら
どこまでも追究する学習
それが探究学習です。



2.

自分の明確なビジョンを確立「ライフキャリア教育」

将来のことを考えるのも、高校生ならではの悩み。自分のしたいことを見付け、そこに向かっていく姿勢は、学校生活の中で自然と養われていきます。本校にはアントレプレナーシップを育てるためのプログラムが多数用意されており、これまでの考え方にとらわれることなく、新しい発想や関係の中で自分の方向性を決めていきます。もちろん、目の前の進学についても、サポートの機会、設備が設けられています。夢の実現に向けて、ライフキャリアを見通しながら、進むべき道を決定していきます。(→ P.07)

3.

文理融合カリキュラムと「県大コース」

情報社会の中、文系や理系という分類ではとらえきれない分野が増えてきました。文理双方の学びがそれぞれ深められるカリキュラムと、自ら学び続けることができる環境を整えています。また、3年時に特別推薦で奈良県立大学への入学を目指す「県大コース」が設定され、高校と大学の双方で学ぶこともできます。高校から大学への学びをシームレスに。学びをより広くより深く進めながら、自分の人生を豊かなものにしていきます。(→ P.09)

こんな学びができるのは附属高校ならではの

- 1年生3時間、2年生3時間の計6時間も「課題探究」の時間があること
- 文系理系の区分なく全員がほぼ同じカリキュラムで学んでいること
- 全ての授業でアクティブ・ラーニング型の学びを取り入れていること
- 1人1台の情報端末を学校内外で思う存分使えること
- 入学時から大学生や大学教育と触れ合い、将来を見据えたキャリアパスを描けること

……など、他にはない条件を整えているのは、「課題探究」を核として大学と高度に連携したカリキュラムを行う「探究科」の学校だからです！



学びの特色【課題探究】 KEY FEATURES OF LEARNING ①

疑問や関心を出発点に、 課題を発見・設定し、 知りたいことを究める



課題探究では、自身の興味・関心に基づき主体的に行動する姿勢、未知の事柄を調査する手法や思考を深める論理的な考え方、得られた成果を他者へ分かりやすく伝える発信力を養います。今最も求められている力を身に付ける学習とは自分次第でどこまでも深め、力を伸ばすことができる学習です。興味・関心に沿って学びたいことを学びたいだけ学べる、それが探究学習です。



尾田 彩杷 さん〈1年生〉

(奈良市立富雄第三中学校出身)

自由に興味を深められ、
新しい発見に出会えます！

自分が好きなテーマや目指す職業についてたくさん調べて考えを深められることが、課題探究の魅力です。何を学ぶかは自由で自分次第、そこから興味を広げていくことに楽しさを感じています。「睡眠と記憶力」をテーマにある大学の先生にインタビューをした時は、脳内物質の話がとてもおもしろく、新しい扉が開けた気がしました。人の心の動きや経済の仕組みに興味があり、将来はマーケターになりたいと考えています。2年時からはSNSとZ世代の関係などマーケティングについて学び、ボランティアにも積極的に参加したいと思っています。

有馬 一頼 先生

(理科担当 研究開発課長)

探究心を学ぶ力にかえ、
将来に生きる力を育てよう。

自ら課題を見付けて解決する「探究力」を養うには、主体的に考え行動する力が大切です。本校の課題探究学習は実践を重視し、身近な題材のインタビューやディベートから始めるなど、楽しく段階的に学べる工夫を凝らしています。また、変化の激しい現代社会への対応としてAIを積極活用しています。テーマ設定の完成度を高めるために使ったり、適切なプロンプトの立て方を学んだりしています。課題探究で培った調査力や協調性、発信力は他教科の学びでも生かされ、生徒の創造性や自信を高めています。探究心旺盛な皆さんの入学を、お待ちしております。



1.

研究の「やり方」を授業でサポート

1年生で毎週3時間かけて、しっかりと研究の「やり方」を学びます。全員で共通してアカデミックスキルを身に付けるため、大学図書館の使い方、情報端末の使い方、統計の見方や使い方、テーマの探し方、研究の進め方などを系統立てて学ぶことができます。また、文献調査やインタビュー、ディベート、プレゼンテーションなど、探究を進めるための活動に必要な力も身に付けていきます。



2.

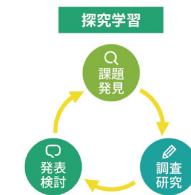
研究を進めるグループのサポート

2年生では、生徒一人一人がテーマを設定し、1本の論文を書き上げます。少人数のチームで、似たテーマで話し合ったり、アイデアを交流したり、調査に協力したり、お互いの発表を聞いて助言したり、協力し合いながらそれぞれの研究を進めていきます。2～3の研究グループごとに担当教員が1人付くので、グループの活動がうまくいかないときもすぐサポートを受けることができます。

3.

大学によるサポート

論文作成に際しては、各クラスに担当する大学教員が付いて、研究への指導助言を行ってくれます。大学の先生を相手にする研究報告は、緊張しますが、研究の方向性についての深い指摘や力強い助言は、あなたの研究を確実にレベルアップしてくれます。また、図書館をはじめとした大学の施設も利用して研究を進めることができます。(→ P.10)



探究フォーラム

毎年3月に行われる探究フォーラムは、自分の研究成果を発表する機会です。代表者を選び、発表の舞台が設けられ、聴衆の中、プレゼンテーションを行います。分科会やポスター発表なども含め、全ての生徒が1年間の探究の取組を振り返ります。



■ 3年間の流れ 3年間かけて継続的に探究活動を行い、自分のやりたいこととしっかり向き合います。

探究するための ベースを身につける [1年]

探究に必要な、調査、考察、まとめ、発表という流れをつかみながら、基礎的なスキルを身に付けるため、グループや個人で活動、学び合いをしていきます。近年はAIを活用する活動も、自分の興味のある内容が、どんな学術的分野の研究とつながっているのかを考えながら、探究テーマを決めています。

自分の興味をより深く、 より発展させて [2年]

自分の興味を深めながら、論文執筆に向かいます。論文に入れる内容を精査しながら研究計画を立て、実際に多くの文献に当たったり、専門家にインタビューしたり、探究活動を自分で行います。ときに行きつ戻りつしながら、最終的には1本の論文に仕上げ、発表します。

総仕上げとして、 大学のカリキュラムの中で [3年県大コース]

2年間かけて培ってきた探究する力を活かし、自身の探究活動をさらに進めていきます。大学教授からの助言もあり、より深く探究活動ができます。

●生徒たちが取り組んだ論文テーマ

- ・各クイズプラットフォームの形式と特性
- ・アニメにおける和服描写と観光展開の関係
- ・郊外地域の人口減少における空き家の活用 etc.



学びの特色【ライフキャリア教育】 KEY FEATURES OF LEARNING ②

自身のビジョンを明確にし、主体的に動き、対話する 多様な考え方に触れる



自分自身が将来どのような仕事・働き方をしたいのか、ビジョンを明確にしたうえで行動に移すことを学んでいくのがライフキャリア教育です。他者によってキャリアや働き方を決定されるのではなく、あくまでも自分自身が主体となって自律的に考え、キャリアを構築していかなければなりません。探究的な学びを通じて地域・日本・世界に貢献できる生徒、大学、その先へと学び続ける生徒を育成するため、2年時に1単位「キャリアデザイン」の時間を設定しています。



横関 穂高さん (2年生)
(宇陀市立榎原中学校出身)

普段考えないテーマに 向きあえるのは新鮮。

この授業では、他者の視点で物事を考える力を養いながら、社会の仕組みや仕事について学んでいます。『白衣を着ない医療』『行動する時に人を巻き込むということ』など、考えたことなかったテーマも多く、時には、よく知っているはずの友人の意見から意外な一面が発見できるのも新鮮です。僕自身、この授業を通して自分から学んでいく力を身につけられました。この授業がなかったら、失敗することを恐れただけで、自分の将来を深く考える機会もなかったと思います。所属している生徒会本部でも他のメンバーや先生と対話を重ねながら「キャリアデザイン」の学びを実践しています。

住本 尚樹先生
(英語科担当)

教員である私自身も、 気づきの多い授業です。

この授業は、ディスカッションやディベートが増える大学での学びを、高校在学中から経験できる良い機会です。取り扱うテーマには正解のない問いや課題が多いのですが、他者の意見を受け入れ自分の意見を伝える、これを繰り返すことは人生を充実させる大きな力になります。テーマの中には、教員の私も考えたこともない話題があり、生徒から新たな視点に気付かされることもあり、私自身もフラットな気持ちで授業を進めています。起業家やNPO法人代表、JICAスタッフなど、さまざまな分野で活躍される方々の特別講義もあり、自分が進む道にも多様な選択肢があることを知ってもらえるきっかけになると思います。



1.

次世代型キャリア教育 ENAGEED 教材を活用

自分に自信を持って生きるために必要な「自分で考え、動く力」を身に付けることを目指します。本校では教材として株式会社エナジードの「ENAGEED CORE」を導入し、デジタルテキスト、動画、グループワーク、起業家講演等、多くの活動を通して、自分の可能性を理解し、日常生活や身の回り、社会に対して自らの能力をどう活かせるかを考えることで、将来のキャリアへ結びつけます。

2.

Ai GROW で気質・コンピテンシー・行動特性を診断

Ai GROW (IGS 株式会社) とは、生徒の資質・能力と教育活動を定量化する評価ツールです。近年、従来の学力に加えて思考・判断・表現力や主体性など、コンピテンシーが重要とされています。本校では、Ai GROW を導入し、自己評価、他者評価から AI が診断した結果を参考に、生徒個人が自らの持つ強みや魅力を理解し、将来のキャリアに生かせるよう、またコンピテンシーを成長させるキャリア教育を行っています。

ライフキャリア教育



3.

リアル/オンラインでの講演会を実施

キャリア育成や進路決定のサポートとして、講演会を多く実施しています。ライフキャリアの見通しを立てるため、職業人から仕事に関する生の情報が聞ける講演や、大学受験などの志望校決定に役立つ講演などがあります。教室のワイドスクリーンを利用したオンラインの講演も積極的に活用しています。

インターンシップ



佐藤薬品工業株式会社

将来、希望する職業から逆算し、自分のキャリアをデザインする。本校では、県キャリアサポートセンターからのインターンシップ受入事業所だけでなく、保護者の方にご協力いただき、学校独自で生徒が職業について体験的に学ぶ機会を設定しています。令和6年度に佐藤薬品工業株式会社のインターンシップに参加した生徒が国立大学の理系学部に進学しました。

インターンシップが行われた事業所

(令和7年度夏期)
桜井市立図書館、大和高田市立病院、土庫病院、株式会社ひごベツト
フレンドリー田原本店、さつき台ベツトクリニック、自衛隊

(令和7年度冬季)
奈良県庁、島田工業株式会社、株式会社南都銀行

進学に向けたプラスアルファの学び・実力養成講座

年間を通しての実力養成講座を行っています。始業前や放課後、長期休業(夏・冬・春)など、普段の授業以外に学べる講座が揃っています。

【実力養成講座】

普段の授業では触れなかった発展的な内容や大学共通テスト対策など、各教科の先生が生徒に合った内容を選び、講座を展開しています。長期休業中には、強化学習会として行われることもあります。





学びの特色【県大コース】 KEY FEATURES OF LEARNING ③

奈良県立大学との 高度な連携に基づく 3年時での「県大コース」

公立大学法人奈良県立大学が設置する附属高校という特徴を生かし、大学と高度な連携を行うことを教育の大きな柱としています。高等学校から高等教育（大学等）へ生徒たちがスムーズに接続できるよう、各クラスには担当する大学教員が付き、研究への指導助言を行います。3年時からは希望する生徒を中心として、週2日奈良県立大学で大学生とともに講義を受講し、特別推薦での入学を目指す「県大コース」を設けています。



附属高校での私

古野 花鈴さん（3年生）

（国立奈良教育大学附属中学校出身）

大好きな地元、奈良に関する学びを深めています。

生まれ育った奈良が好きで、奈良に関する学びが充実している奈良県立大学への進学を志望していました。大学では「奈良の歴史」「奈良と芸術」などを履修。作られた時代による仏像の特徴の違いなどを知り、何気なく見ている寺社仏閣や文化財にも奥深さを感じるようになりました。また、自分の探究テーマをまとめる論文執筆や研究発表の際には、教授から直接アドバイスをいただけるので、自分の考えがブラッシュアップできて楽しいです。高校と大学を同時期に通えたことで、学びに対する自分の姿勢も客観的に見ることができ、以前より主体的に学べるようになったと思います。

県立大学での私



藤田 大輔 講師

奈良県立大学 担当科目：データ工学

学びへの熱心な姿勢が印象的です。



「AI データサイエンス基礎」の講義や、高大連携の探究活動発表に関するアドバイスを「特別ゼミ」で県大コースの生徒たちと一緒にします。生徒の多くが講義を熱心に聞いており、特別ゼミでも活発な議論を交わし、授業終了後も質問に来たりと、学びに対して積極的な印象です。成績についてデータ分析した結果、県大コースの生徒たちの成績はとても安定しています。高校在学中から大学の講義が受けられ、専門性の高い指導を行う大学教員と接点を持つこと自体、とても大きな経験です。この貴重な学びを、存分に享受してほしいと思います。

1.

1年生では県大キャンパスで 大学での学びを体験！

1年生の夏には、全ての生徒が大学を訪れ大学の雰囲気味わう「県大week」、また大学の附属図書館を利用するための「図書館オリエンテーション」もあり、身近に県大を感じられます。秋には大学の先生方が高校に来て講座をする「県大hour」も開催されます。



2.

2年生から課題探究の 学びへ本格的に挑戦！

課題探究が進む2年生では、論文執筆にあたり、県大の先生から直接アドバイスをもらう機会が複数回用意されています。年度初めには、探究に取り組むにあたってのガイダンス、夏には大学の先生のとこに伺い、研究計画を練り直す「課題探究相談会」が行われます。秋には、「中間発表会」、年度末に「探究フォーラム」と計4回あります。



3.

3年生では県大入学目的の 「県大コース」スタート！

県大コースの生徒は、週2日を大学で、週3日を高校で学びます。大学の授業を受けながら、高校卒業に向けての学習も進めていくのは大変ですがやりがいがあります。履習した単位は、奈良県立大学に進学後はそのまま卒業単位として認定されます。



奈良県立大学1年生
李 美月さん

附属高校1期生として、大学と一緒に学べることは本当にうれしい

将来、教育現場をサポートする存在になりたくて、大学では「言語学」に関するゼミに所属し、言語障害や国による識字能力の違いについて学びを深めています。高校在学中からダブルスクールとして本学で履修してきたので、大学の勉強にもシームレスに馴染んでいけましたし、ゼミやサークルも、入学当初から知合いが多く安心できました。今夏行った、附属高校1年生対象の「県大week」も企画から携わり、大学生の魅力を伝える読解きゲームなどを実施しました。参加した皆さんには大学の楽しい雰囲気が伝わったかなと思います。附属高校1年生の私は、先生や仲間とともに作ったこの高校が大好きです。大学で、県大コースの後輩と一緒に学べることも本当にうれしく思っています。

MESSAGE



奈良県立大学
附属高等学校長
石井 宏典

生涯にわたって学び続ける 自律的な学習者の育成を目指して。

AI等の技術革新が一層進展し、不可能と思われたことが可能になる社会では、正解のない問い（社会課題等）と向き合い、その解決に向けて行動できる人材が必要となります。本校では、生徒の主体性と創造性を最大限に尊重し、大学との高度な連携・接続による「探究的な学び」を基軸に据えた特色ある教育プログラムを実践しています。特に、生徒自ら課題を設定し、大学教員の助言を得て調査研究に取り組む「課題探究」を通して、既成概念や前例踏襲に囚われず、ロジカル（論理的）でクリティカル（批判的）な思考のフレームワークを獲得することで、生涯にわたって学び続けるアクティブ・ラーナー（自律的な学習者）の育成を目指しています。



奈良県立大学
学長
尾久土 正己

AIが苦手な、自ら問いを立て 答えを考える力を育てる。

昨今のAIの進化は目覚ましく、大学入学共通テストで満点を取れるほどの性能に達しています。では、これからの時代、私たちは何をどのように学ばばよいのでしょうか。AIは、既に答えのある問いには強い一方、誰も考えたことのない問いや、答えが一つに定まらない問いは苦手です。私たちが直面する社会課題の多くは、まさにそのような問いです。附属高校の「課題探究」では、奈良県立大学教員のサポートのもと、自ら問いを立て、答えを考える力を育てています。附属高校では、受験偏差値では測れない力を、高校から大学へとつながる一貫したカリキュラムの中で養います。



「課題探究」の 学びに対応する 充実した学習環境

「課題探究」の学びの中で、
生徒たちの多様な個性を伸ばすことができ、
一人一人が自らの可能性に挑戦できるよう
独立した自習室の設置や、
1人1台の端末によるICT活用教育など、
さまざまな学習シーンに対応する
多面的な学習環境をサポートしています。



Kendai Juku

■「県大塾」と呼ばれる自習室

*

本校の自習室は「県大塾」と呼ばれ、自ら学習できる環境が整っています。個別学習スペースが2教室60席、グループ学習できる教室が1教室開室されています。平日は、始業時間前1時間と放課後2時間、GW、お盆、年末年始を含む休日年間約68日間（1日8時間）開室しており、多くの生徒が利用し学習を進めています。

【個別学習スペース】

個別学習スペースでは、ブース形式で高い集中力を保ちながら学ぶことができます。端末も利用した効果的な学習を行うことができます。



【アクティブ・ラーニング教室】

アクティブ・ラーニング型で学び合いができるスペースも整っています。友人同志、学習意欲を高めながら積極的に学んでいます。



Library

■図書室

*

たくさんの蔵書に囲まれた図書室は、利用者も多く、調べものや読書にぴったりの場所。探究活動の調査にもよく利用されます。2年生の課題探究で、各自の書いた論文が保管されているのも、ここ。先輩たちが書いた過去の論文を見ることもできます。室内の一角では、生徒たちと先生が企画した季節の本や話題の図書も展示されます。



ICT-enhanced Learning

■1人1台ICT活用教育

*

生徒一人一人がタブレットを持ち、先生から配信される課題に取り組んだり、レポートやプレゼン資料を作ったり、日常的に使いこなしています。学校からの案内の多くが、ClassiやMicrosoft Teamsなどネットを通じて送られてくるので、毎日のチェックも欠かせません。もちろん、家庭学習でもスタディサプリを使ったオンラインでの事前学習など、使用機会は多岐にわたります。



Online English Conversation

■1人1台ICTのメリットが活かされる 「オンライン英会話」

*

ライフキャリア形成のきっかけのひとつとして、本校ではグローバル教育にも力を入れています。大学入学や資格取得のためだけでなく、生きた英語を身に付けることを目的に、「オンライン英会話」を実施。外国人講師と1対1で会話することで、実用的な英語力向上が期待できます。さらに、学習能力や習熟度別に応じた個別最適なレッスンとなっており、自分自身で何とかしようとするため、英語の力だけでなく、一人の人間としての主体性や行動力も育まれます。



キャリアサポートと 進路実績について

本校は開校間もない学校であり、アントレプレナーシップを存分に養える環境にあると言えます。単なる起業家育成という意味にとどまらず、社会課題を見つけ、課題解決に向けて新しいチャレンジをしたり、ボランティアなど他者との協働を通じて貢献したり、様々な活動を行っています。それを支えるのがキャリアサポートです。より実践的で多彩なプログラムを通じ、生徒たちの進路決定を支えています。



Major Annual Activities

■年間の主な取組

*

- スタディサポート(1・2年)…年度当初に基礎学力をはかります。また、学習習慣など学びへ向かう姿勢なども調査し、これからの学びに活かしていきます。
- 総合学カテスト(1・2年)…今の学力を総合的にはかるテスト。年3回実施しています(7月、11月、1月)。
- 模試(希望者、全学年)…共通テスト対策、記述対策などの模試を校内や奈良県立大学などで実施しています。
- 校内予備校…長期休業中に、塾、予備校の講師による共通テスト対策講座を、教員による講習とは別に実施しています。
- 国公立大学説明会 in NARA…年1回、近畿圏外の国公立大学のプレゼンテーション、個別相談会などを実施しています。
- 大学教員による分野別模擬授業(1年)…大学の講座を、高校にしながら体験できます。分野別に分かれていて興味のある講座を選び受講します。
- 高校生からの教員養成講座…教員志望の生徒が集まり、教員になるための心構えや学習について、教育大学の先生や教育実習生と共に、ディスカッションなどを行い、学んでいきます。
- キャリアデザイン講演会「職業人に学ぶ」…起業家、NPO法人、JICAなど、多種多様な職業人の講座を受講し、キャリア選択を考えます。

Post-Secondary Outcomes

■進路実績

*

令和6年度 大学入試等合格状況一覧表

<ul style="list-style-type: none"> ○国立大学 ・北海道大学 ・筑波大学 ・埼玉大学 ・富山大学 ・三重大学 ・滋賀大学 ・京工芸繊維大学 ・奈良教育大学 ・奈良女子大学 ・岡山大学 ・山口大学 ・徳島大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都女子大学 ・大谷大学 ・佛敎大学 ・京都橘大学 ・京都芸術大学 ・京都看護大学 ・京都精華大学 ・京都外国語大学 ・京都光華女子大学 ・京都文教大学 ・関西大学 ・近畿大学 ・関西外国語大学 ・大阪産業大学 ・追手門学院大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪樟蔭女子大学 ・大阪人間科学大学 ・関西学院大学 ・神戸薬科大学 ・武庫川女子大学 ・神戸女学院大学 ・兵庫医科大学 ・宝塚大学 ・帝塚山大学 ・畿央大学 ・天理大学 ・奈良大学 ・奈良学園大学 ・岡山理科大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪スクールオブミュージック専門学校 ・大阪ハイテクノロジー専門学校 ・修成建設専門学校 ・日本医療学院専門学校 ・パンタンデザイン研究所大阪校 ・上田安子服飾専門学校 ・大原簿記法律専門学校梅田校 ・大阪ビューティーアート専門学校 ・大阪モード学園 ・大阪ウェディング&ブライダル専門学校 ・大阪府岡医療専門学校長柄校 ・辻学園調理・製菓専門学校 ・奈良市看護専門学校 ・奈良県医師会看護専門学校 ・大和高田市立看護専門学校 ・関西学研福祉医療学院 ・奈良歯科衛生士専門学校 ・紀南看護専門学校
<ul style="list-style-type: none"> ○公立大学 ・京都市立芸術大学 ・奈良県立大学 ・山陽小野田市立山口東京理科大学 ・高知工科大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂南大学 ・大阪大谷大学 ・大阪商業大学 ・大阪電気通信大学 ・関西福祉科学大学 ・森ノ宮医療大学 ・桃山学院大学 ・龍谷大学 ・京都産業大学 ・同志社女子大学 	<ul style="list-style-type: none"> ○短期大学 ・堺女子短期大学 ・大和大学白鳳短期大学部 ・奈良芸術短期大学 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学校 ・職業能力開発総合大学校 ・近畿職業能力開発大学校
<ul style="list-style-type: none"> ○海外大学 ・国立臺灣大学 	<ul style="list-style-type: none"> ○私立大学 ・慶應義塾大学 ・明治大学 ・名城大学 ・立命館大学 ・龍谷大学 ・京都産業大学 ・同志社女子大学 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門学校 ・京都動物専門学校 ・OCA 大阪デザイン&テクノロジー専門学校 ・HAL大阪 ・大阪医療技術学園専門学校 ・大阪情報コンピュータ専門学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○就職 ・自衛隊 航空学生 ・自衛隊 一般曹候補生 ・大阪府警察 ・奈良県警察 ・奈良県警察事務 ・株式会社サンディ



中山 実果子 さん
国立臺灣大学1年生
新しい自分を見つけたい人にとって最高の環境です。

もともと人前で話すことや、自分の考えを伝えることが苦手な私でしたが、探究の授業を通して関心事や思考をアウトプットし続けたことで、自信を持って発言できるようになりました。そのおかげで海外進学という大きな進路決定も決断することができたと思います。附属高校の1期生として「学校を一から作り上げていく」という過程は先生や同級生との貴重な経験でした。新しい学校をより面白い学校にするために責任感を持って取り組んだ日々は充実し、その経験は社会に出てからも人生においても大きな糧になると確信しています。今の自分を変えたい、新しい自分を見つげたいと望んでいるなら、「自立・挑戦・貢献」が学校のモットーである附属高校は最高の環境です。



内山 結月 さん
奈良県立大学1年生
高校時代に育んだチャレンジ精神で、楽しく生きる！

大学では、県大コースの頃から履修していた比較文化社会論のゼミに所属。誰もが住みやすいと思える環境づくりに関心がある私は、「コミュニティ」がいかに人を生きやすく、また楽しくさせるのかを研究しています。「大学は研究機関、自分から学びに行く姿勢が大事」と、子どもの頃に聞いてからハードルの高さを感じていましたが、高校在学中から大学で履修できたことで、関心のあるテーマに集中できる環境に、むしろ心地よさを感じています。附属高校の1期生として入学した私たちに對して、先生方はいつも丁寧に向き合ってくださいました。そんな先生と仲間と一緒に、一から学校を作ったという経験は、今でも私の大きな力に。これからのいろんなことを乗り越えながら、楽しく生きていくことが私の人生の目標です。



一年を通して さまざまな体験が 人間性を育みます

大学に合わせた「2学期制」であり、多くの授業がある中で、西橙祭（文化祭）、体育祭、研修旅行などの行事が幅広く行われます。企画から準備、運営、振り返りまで、生徒たちが中心となり自分たちで動かすのが本校の行事。その中で学びには、得るものがたくさんあります。



Annual Events 年間行事

入学してすぐにスタディサプリ到達度テストやスポーツテスト、台湾交流や英語検定、6月には西橙祭と呼ばれる文化祭が行われ忙しく過ぎていきます。

夏休みには県大での学びを始め、探究活動の実施や、県大塾（自習室）で学習を進めたり、国内留学に参加したり、インターンシップやボランティア等さまざまな活動に参加します。

04月 April 05月 May 06月 June 07月 July 08月 August 09月 September

- ◎入学式
- ◎二者面談
- ◎スタディーサポート
- ◎スタディサプリ到達度テスト
- ◎生徒会選挙
- ◎スポーツテスト
- ◎台湾交流
- ◎英語検定
- ◎生徒総会
- ◎前期確認テスト
- ◎創立記念行事
- ◎西橙祭（文化祭）
- ◎進路ガイダンス（2年）
- ◎ベネッセ総合学力テスト（1・2年）
- ◎世界遺産検定
- ◎三者面談
- ◎Global English Camp（国内留学）
- ◎県大WEEK（1年：学校体験会 2年：探究相談会）
- ◎夏季進学補習
- ◎県大図書館オリエンテーション（1年）
- ◎スタディサプリ活用度テスト
- ◎前期未考査



入学式



台湾交流



西橙祭（文化祭）



Global English Camp（国内留学）

Study Trip 研修旅行

*

本校では、研修旅行を探究活動における1つの到達点と考えています。個々が獲得したアカデミックスキルを研修旅行という共通のフィールドでどれだけ実体験的な活動にできるのか。企画から実施まで生徒それぞれが主体的に関わることによって、高校から大学、社会へつながる活動の柱とすることを目的に掲げ

ています。行き先の決定についても、生徒たちが積極的に関わります。令和7年度の研修旅行先は沖縄でした。自分たちの決めたところで、何が研修できるか、何を探究するか。歴史、自然環境、地域性など、普段とは違うフィールドで見聞を深めていきます。

【生徒たちが取り組んだ活動】

- ・沖縄戦跡めぐり、ひめゆり平和祈念資料館見学、ガンマ追体験
- ・グループ探究活動「自分たちでテーマを決め沖縄フィールドワーク」
- ・琉球大学での特別講義、キャンパスめぐり
- ・マリン自然体験、地域レジャー施設体験
- ・美ら海水族館見学、「推し FISH と写真を撮ろう」



秋は次年度の科目履習を考える二者面談から始まり、中学生対象の学校体験会、研修旅行や1・2年の進路説明会などが行われテストや行事が盛り沢山の時期となります。

新年は、検定やテストのほかに、新春カルタ大会や3年生を送る会、探究フォーラムが行われます。次の学年を見据えた進学補習もあります。

10月 October 11月 November 12月 December 01月 January 02月 February 03月 March

- ◎二者面談
- ◎体育祭
- ◎学校体験会（中学生対象）
- ◎英語検定
- ◎教員養成講座
- ◎ベネッセ総合学力テスト
- ◎生徒会選挙
- ◎課題探究中間発表会（2年）
- ◎進路説明会（1・2年）
- ◎研修旅行（2年）
- ◎生徒総会
- ◎後期確認テスト
- ◎三者面談
- ◎冬季進学補習
- ◎ベネッセ総合学力テスト
- ◎新春カルタ大会
- ◎英語検定
- ◎学年末考査
- ◎3年生を送る会
- ◎卒業式
- ◎探究フォーラム
- ◎春季進学補習



教員養成講座



体育祭



探究フォーラム



卒業式

ノーチャイムで 今日も新しい1日が 始まります

普段の生活も、自分から主体的に行っています。授業の課題や時間割変更など、連絡の多くが配信され、また、課題探究のように時間をかけて取り組むものもあって、内容把握やスケジュール管理は、生徒個人に任せられます。自分の力で、学習計画を立てるのも、本校の大きな特徴です。



Daily Schedule 1日のスケジュール

08:00	08:30	09:00	10:00	11:00	12:00
08:00-08:30 登校・朝準備 朝は1限目が08:30から。朝はみんななどの会話や授業の準備をします。	08:30-12:05 午前授業：1限～4限目まで 午前は45分授業で4限目まで。休憩時間は10～15分です。				12:05-12:35 ランチ・昼休憩 30分の休憩はお弁当。みんなとワイワイ食っているとあっという間に過ぎていきます。



Facilities 施設紹介



化学室



中庭



グラウンド



体育館



ロッカー室



物理室



進路相談室

Club Activities

部活動

*

全ての部活動は、生徒たち自身が企画、創部したもので、運営方針についても、生徒会とやりとりをしながら、生徒と共に決定しています。平日（授業日の放課後）は2時間以内、休日（休業日）は3時間以内、また週あたり平日3日、休日1日以内という規準で、学習との両立を目指しています。また、部活動指導員（外部コーチなど）を置いて専門的な指導を受けることもできます。

◎現在活動中の部活動・同好会

- | | |
|-----------|------------|
| 【部活動】 | ・競技かるた |
| ・陸上競技 | ・データサイエンス |
| ・バスケットボール | ・軽音楽 |
| ・サッカー | ・広報 |
| ・バドミントン | ・人権教育 |
| ・弓道 | ・新聞 |
| ・テニス | ・ポランティア |
| ・硬式野球 | ・書道 |
| ・ダンス | |
| ・吹奏楽 | 【同好会】 |
| ・美術・イラスト | ・野外活動同好会 |
| ・放送 | ・文芸創作同好会 |
| ・ボードゲーム | ・バレーボール同好会 |



13:00	14:00	15:00	16:00
	12:35-15:15 午後授業：5限～7限目まで 午後からの授業は7限目まで。あと3限がんばります。		15:20- リフレクションタイム・ 部活動 20分程度のリフレクションタイムが始まります。その後は、自習をする人も部活動へ行く人も。



本校はノーチャイムです。時間管理は自分たちで行います。



長期休業

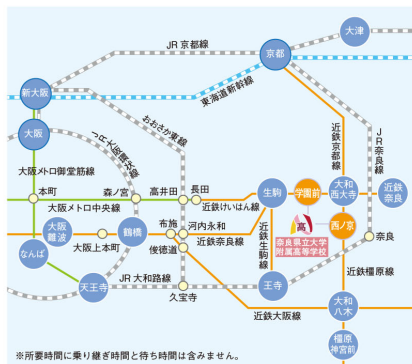
夏季休業：8月1日～9月7日 冬季休業：12月24日～1月6日 春季休業：3月21日～4月7日

リフレクションタイム

主体的な学びに欠かせないのが「リフレクション（振り返り）」です。単に「学んだことの復習」ではなく、どんな目的で活動し何を身に付けたか、学習計画や進捗を常に自ら意識することで学習効果が一層高まります。7限後に設けられている「リフレクションタイム」は、その日の学習を振り返って確認するとともに、この後の学習計画を確認する大切な時間。自らの課題を分析し、時には授業中に生じた疑問を周囲と共有しながら、学びを深めていきます。

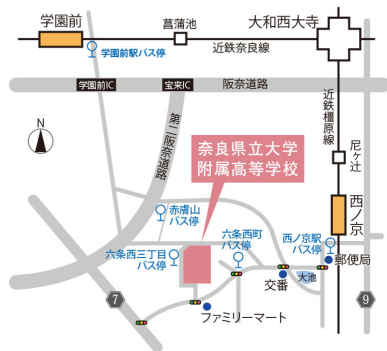


ROUTE MAP



- 京都駅から、近鉄京都線で「西ノ京」駅まで約 51 分。
- 新大阪駅から、大阪メトロ「なんば」駅まで、近鉄奈良線「大阪難波」駅へ乗り換え、「学園前」駅まで約 48 分。
- 大阪駅から、JR 大阪環状線「鶴橋」駅で近鉄奈良線に乗り換え「学園前」駅まで約 44 分。

ACCESS



- 近鉄西ノ京駅より、奈良県総合医療センター行きバス乗車
六条西町下車 西へ 500m
- 近鉄西ノ京駅より、西へ 1.8km
- 近鉄学園前駅（南口）バス乗り場より、
六条西三丁目行きバス乗車 六条西三丁目下車 すく

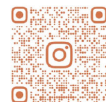
奈良県立大学附属高等学校

NARA
PREFECTURAL
UNIVERSITY
SENIOR HIGH SCHOOL

〒630-8044
奈良市六条西三丁目 24 番 1 号
TEL : 0742-81-4430 FAX : 0742-81-4431



本校 Web ページ



学校生活の様子

奈良県立大学附属高校 